Rotary International District 2570

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

No.4 1st October 2011

『Smart Rotaryを探して』

～継続できるロータリークラブとは～

＋

『ガンバレ！日本のロータリークラブ』

国際ロータリー第2570地区
2011-2012年度ガバナー
立原雅夫

職業奉仕月間と米山月間に因んで

2011−12年度国際ロータリー第2570地区
ガバナー 立原　雅夫

■ 職業奉仕月間に思う！

ロータリークラブは、20世紀初頭のシカゴでP. ハリスと３人の青年達によって始められました。その主旨は、当時の荒廃した社会の中で、信用できる確実な商売の確保と拡大のためであったと思います。その会合は仲間の事務所を持ち回りで開かれたことからロータリークラブと名付けられたと聞いています。ここにロータリーの原点は職業奉仕にあり、という表現になるのでしょう。

その後もこの主旨に賛同する職業人や専門家などの仲間たちが増え、つぎつぎに各地にロータリークラブが発生し、今日では200ヶ国・120万人を超える大きな組織となりました。

また綱領の前文からも、「ロータリーは有益な事業を基礎として、奉仕の理想を鼓吹・育成すること・・・・・」とあるように、やはり健在な職業の追及が基本となり、その先にそれぞれの奉仕活動が成立し、発展してゆくことだと考えます。

特に最近の変化の激しいこの時代には、ロータリーとしてこの基本理念に高い倫理観や高潔性を加えて、公共的にも価値ある職業奉仕を行うことが必要であると思います。

現在のロータリーの活動は、社会・国際・新世代奉仕等に示されるよう社会的にも素晴らしく、有意義な奉仕活動が展開されています。それ故にロータリーは奉仕活動優先とする団体と思われがちですが、職業奉仕が基本であることを十分に理解し、夢ある未来に進もうではありませんか。

■ 米山月間に思う！

ロータリー米山記念奨学会の目的は、将来母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することであります。

先日、第2570地区の米山記念奨学セミナーが行われました。その際、現在当地区に在籍している世界の各地から訪れている米山奨学生たちが将来の夢を語ってくれました。「将来は祖国で、初の女性大統領になりたい」「将来は祖国で、学校の先生になり多くの貧しい子供に学問を教えたい」「将来は祖国で、恵まれない人々のボランティアを…」「将来は祖国で、大きな会社を設立し、お金持ちになりたい」・・・などでありました。彼等は、将来への希望に満ちあふれ、その達成への自信さえうかがわせる発言でありました。やはり若者たちは、うらやましいほどの可能性と力強さを持っています。我々も彼らの語る夢がすぐにでも実現するのではないかと錯覚してしまう程でした。

３月11日、「東日本大震災」が起きました。この際にも、この直後から米山記念奨学会には国の内外各地の奨学生や学友から、多額の義援金が送られてきたそうです。そして、多くの奨学生・学友がすぐに被災地に駆けつけ、ボランティア活動や様々な支援活動に参加して、日本を応援してくれました。このことは彼らがこの奨学制度を十分理解しての行動で、とてもうれしく感謝いたします。

この制度は、日本のロータリー独特のプログラムです。ロータリー米山記念奨学生には、祖国での活躍はもちろんのこと、日本や世界のロータリークラブ活動の架け橋となり、いっそう明るく平和な世界を追求していただくことを希望いたします。

ロータリーの源流は、職業奉仕

職業奉仕部門委員長　細井　保雄（行田さくら）

この度、浅田進様（本庄南RC）よりご案内を頂き今年２月に源流の会、会長 田中毅先生（尼崎西RC）のセミナーに参加しロータリーのことを大変学ぶことができました。

創立当初におけるロータリーの目的は事業上の利益の促進と会員同士の親睦でありました。1908年にシカゴクラブに入会したアーサー・フレデリック・シェルドンは、当時誰もが考えつかなかった奉仕理念をロータリーに提唱しました。ロータリーがこれを採択したことによって、その後華々しい発展を遂げることになりました。ロータリーの職業奉仕理念は、シカゴクラブ会員、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱したものであり、その内容は修正資本主義に酷似した企業経営理論に基づいた純粋な経営学であることです。

「 He profits most who serves best 」に基づくサービスの概念を科学として捉えそれを体系的に教えることが1902年にシェルドンが設立したシェルドン・ビジネス・スクールの方針でした。顧客に満足度を与える具体的経営方法、それは、結果として高い職業倫理に繋がるというものでした。

ロータリーのもう１つの奉仕理念を現す言葉は、「Service above self」超我の奉仕です。「Service above self」の原型となる言葉は、「Service not self」であり、このフレーズは1911年フランク・コリンズが即興演説したものです。コリンズはこのスピーチをするに当って事前にシェルドンを訪ね、「He profits most who serves best」と整合性を図っていたという記録があります。

私もこのような点を皆様と学びたいと思います。

さて職業奉仕委員会では、各クラブ様にご協力頂き、「我等の生業」を編纂し、これを異業種交流に反映させたいと存じます。高校生社会体験活動ですが、埼玉県との共同事業です。多くのロータリアン企業の協力により退学率が著しく減少しました。今年も９月～12月にかけて実施されますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

職業奉仕月間によせて

職業奉仕委員長　田代　充雄（熊谷西）

職業奉仕は抽象的で難しいとされ、忘れ去られた部門と言われておりますが、私は会員にとって最も興味のある活動が出来る部門であると考えております。

企業経営者の最も重要な役割は、経営する企業を永く継続させることです。「職業を通して社会に貢献する」ということが職業奉仕であるということは、職業奉仕とは企業を永続させるということに他なりません。嘘、インチキ、ごまかし、デタラメの多い企業、相手の弱みに付け込み利益を貪る企業、労働条件の劣悪な企業、脱税・滞納をなんら気にしない企業等が永く継続することはありません。

最近のロータリーの奉仕理念の文献研究では、アーサー・フレデリック・シェルドンは『最も善く奉仕し、保全するもの、最も多く報われる』を使い、保全の必要性を説いていたことが分かってきたそうです。保全即ち継続することが重要なのです。

夢と希望を持って未来に羽ばたけ！

高校生社会体験活動委員長　五十嵐　敦子（本庄）

次世代を担う青少年達は、いつの時代も国や社会の宝です。激変する社会、環境に連動して次世代を担う青少年達も不安を感じ悩んでいます。埼玉県として「生きる力・社会力」の育成のため、高校生の社会力を育てる総合推進事業が、平成１８年度から実施されました。２５７０地区としても、上田知事の要請のもと「青少年健全育成」の観点から、県立高校の「就業体験活動」への協力を継続してきました。本年度も各クラブ事業所へ高校生の受け入れ要請をしたところ、沢山の事業所の方が就労体験の機会を与えて下さいました。心より感謝申し上げます。

いよいよ、９月末から１２月にかけて就業体験が実施となります。「職業」は利益を得るもの、「奉仕」は世のため、人のために尽くすことです。どうか、この奉仕の心を持って次世代の青少年が、夢と希望を持って未来に羽ばたいて行けますように「高校生就業体験」へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

寄付金3,500万円達成に向けて

米山記念奨学部門委員長　**大澤　衞**（和光）

本年度で三期目を迎えました。前年度は、地区目標額を８００万円下回り、皆様方への説明不足を痛感いたしました。立原年度、会員数の減少に伴い一人あたりの目標額は２万円超となり大変なご負担になろうかと存じますが、より一層のご協力を賜りますようお願い申しあげます。

実情を鑑みますとき、寄付金額２万円を超えてご協力をいただきました９クラブがある一方、特別寄付金「０円」が８クラブございました。また、特別寄付金のご協力をいただきました会員の割合は32.9％です。ロータリアン全員のご協力を切望いたします。

米山月間の卓話依頼は９月10日現在、３３クラブからいただいております。月間に拘らず、お伺いいたしますので「ガバナー事務所」まで、ご下命賜りますように再度お願い申しあげます。

米山の心が育つ

米山記念奨学推進委員長　**井上　豊**（秩父）

東日本大震災は、私の住む秩父地方では大きな被害はなく、ただ、それに伴う停電、物不足に辟易しているころ、一本の国際電話がかかってきました。

何年か前に米山奨学生としてお世話していた学友（元奨学生）からの電話でした。「大地震、大津波、そして、福島原発の事故それに伴う大停電。ニュースで見ました。私に何かできる事はありませんか？」母国で職に就いたばかりの学友からです。（彼女は、日本での乾電池が不足している状況を知り、カウンセラーの所に１０キロもの乾電池を送っていました）

この彼女のほかにも学友たちから、日本を、第２５７０地区を憂い、気遣っている心配のメールや電話が届いて来ています。

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源に、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金で支援する国際奨学事業です。

米山記念奨学事業は、奨学生に金銭の支援のみならず、日本との交流を深め、平和と国際理解の推進、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育てることにあります。

ある奨学生は、ボランティア活動として何日も現地に入り瓦礫の撤去作業をし、学友においても、母国から大きな義捐金、物資援助など頂いています。

皆様方の米山記念奨学会への貴重な寄付金が、多くの奨学生の心を育て生かされています。

今後とも皆様ロータリアンの御理解あるご協力をお願い致します。

米山月間に因んで

米山記念奨学学友委員長　**竹間　暎**（東松山）

新しい米山奨学生の諸君をホストして頂いて半年が過ぎました。各ＲＣ会員の皆様の、温かいご指導、ご協力を頂き、学生諸君も安心して頑張っていることと思います。

さて、現在全国で約８００名の奨学生が学んでおります。当地区には２７名の奨学生がおります。

なお、学友となった奨学生は現在１５０００名に及びます。母国に戻って国の発展に尽くす人、祖国と日本のかけ橋となって活躍する人、世界平和と国際理解のために貢献する人、などさまざまな活躍をしております。また、台湾で、米山学友が中心となって、二つのＲＣが創立されました。また、ロータリアンになった学友は１２６名に上ります。この中には日本のＲＣ会員になっている人も含まれます。

今後も会員皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

職業奉仕部門セミナー報告

職業奉仕部門委員長　**細井 保雄**（行田さくら）

８月６日（土）熊谷市キングアンバサダーホテルにおいて、職業奉仕部門セミナーを開催いたしました。

第１部、職業奉仕部門協議会

13：30より立原ガバナーの点鐘、ご挨拶、真下和男諮問委員のご挨拶、私の本日のセミナー概要説明、田代充雄職業奉仕委員長よりロータリーの職業奉仕についてと、今年度編纂する「我等の生業」についての説明、五十嵐敦子高校生社会体験活動委員長より現在の活動状況報告や、各クラブ様へのお願いをして頂きました。

第２部では、源流の会 会長 田中毅先生（尼崎西ＲＣ）より講演して頂きました。テーマは「シェルドンの思考」でした。ロータリーは元々、親睦を目的として出発した。そして会員間の相互扶助。１９０８年にシカゴクラブに入会したアーサー・フレデリック・シェルドンが奉仕理念をロータリーに提唱して、その後華々しい発展を遂げた。ハーバート・テーラーの「４つのテスト」等々お話しを頂きました。多くのロータリアンから、ロータリーが良くわかったとの感想を頂きました。

第３部では、田中毅先生を囲んで懇親会でした。多くの参加者の皆様より熱心な質問を頂き楽しく又、ためになる時間を過ごすことが出来ました。

「国際奉仕部門セミナー」報告

国際奉仕部門委員長　茂木　正（本庄）

過ぎる８月２８日(日曜日)、東松山市紫雲閣にて国際奉仕部門セミナーが、出席者数１２７名にて賑やかに開催されました。

今回は『特定非営利法人難民を助ける会』理事長の長有紀枝様からご講演を頂きました。『難民を助ける会』からは、昨年度地区皆様から支援をさせて頂きました支援金に対する活動報告や、支援の現状等のお話を伺いました。

私達の行っている支援や援助がなかなか形として見えてこないところが多い中で、今回の講演では私共の支援金がどこでどう使われたのかも説明して頂きました。私共の支援はすれば良いと言った支援から、これからは何の目的で、どこでどんなふうに使われたのかと言った説明責任と言った様な事が要求されてくると思います。皆様からの大切な浄財を一層有意義にピンポイントに使う事は大切な事です。支援を必要とする国や地域へ国際関係を含めて有意義に使って行かねばならない支援、援助です。

私達の活動を通して世界平和につなげ、一層の私達の地域と国の発展にも繋がって行く事を願って国際奉仕部門セミナーが終了致しました。

新世代部門セミナーを開催について

新世代部門委員長　野口　健吉（東松山むさし）

立原ガバナー年度の第１回新世代部門セミナーを去る９月４日（日）嵐山町の国立女性教育会館において開催されました。

当日は、インターアクト顧問教師会会長埼玉県立和光国際高校校長亀掛川様にも御出席頂き、７０名を超える参加を頂き開催できました。

立原ガバナーより点鐘、ご挨拶を頂き引き続き諮問委員野中パストガバナーのご挨拶を頂きました。

各委員会の発表の前に研修リーダー加藤玄静パストガバナーより、ロータリーの現状及び今後のロータリー活動に対しての取り組みについて講演して頂いた後、各委員会の報告に進みました。

武藤アクト委員長より、地区内活動報告及び課題点の説明後、星野高校インターアクトクラブ会長伊藤希さんより地区並びに所属クラブの活動報告をして頂きました。

引きつづき、ローターアクト地区代表佐々木衛さんより地区内活動、所属クラブの活動報告をして頂きました。

続いて、宮原青少年交換委員長より、現況報告及び課題点の説明後ローテックス会長青島さんより、活動報告をして頂きロ－テックス副会長川原さんより留学報告をして頂きました。

続いて、島田ライラ委員長より、昨年開かれたライラデーの報告をして頂き、今年のライラデ－開催にいては１２月４日紫雲閣にて開催する予定で、米山奨学生による講演を頂き、ディスカッション後、各グループ事に発表して頂きます。

最後に、野中パストガバナーによる講評を頂き有意義なセミナーを開催できました。

熊谷西 ロータリークラブ

立原ガバナーをお迎えしての公式訪問は盛夏の８月に熱い熊谷西クラブ定例会場であるレストランアークにて行われた。鈴木ガバナー補佐と会長幹事面談では、当クラブの社会奉仕活動、児童養護施設「雀幸園」支援他、ソフトボール大会の紹介をさせていただきました。３年未満会員との面談も和やかな中行われた。例会での卓話はガバナーのロータリー歴、ゲッツでの逸話、現在のロータリーの課題と未来について充実した内容でした。クラブ協議会は各委員長が本音の前向きな意見を述べ、大変有意義な時間となった。終了後、軽食の懇親会が開催され立原ガバナー、鈴木ガバナー補佐と会員との懇親を深め盛会のうちに古屋パスト会長の熊谷締めとともに閉会となった。充実した一日となった。

深谷 ロータリークラブ

８月９日(火)　立原ガバナー、第４グループ山田補佐と共に当クラブへお越し頂き入会３年未満及び役員との懇談会から始まり立原ガバナーの入会から現在に至る迄の本音の話に場が和み会員にとって終始明るく有意義な時間が過ごせたと思います。特にロータリアンの例会義務出席及び世界に向かって何かよい事を一緒にやらないか！この言葉は会員にとって心の起爆剤になったと確信しました。例会では「Smart Rotary を探して」のテーマの元、各クラブは大いに自由活動を、広聴広報活動を通じてロータリーの認知度のイメージ向上に更には時代に見合った奉仕活動又次世代を担う青少年・青年へ等々、戦後生まれのガバナーの力強い熱弁に感動いたしました。又、クラブ協議会では 14 委員会委員長全員出席の発表に始まりガバナーより適切且つ適確なアドバイスを頂き誠にありがとうございました。最後にＲＩ会長の家族・継続・変化を掲げ今後も頑張っていきたいと思います。どうか立原ガバナーマイペースで御自愛の程！！

熊谷東 ロータリークラブ

例会前の役員と３年未満新会員の懇談会では、立原ガバナー、鈴木ガバナー補佐のお人柄によりとても和やかな雰囲気で行われました。新会員の質問にも解り易くご説明を頂き、意義深い懇談会を体験することがことができました。

ガバナー卓話では、地区テーマについて、「東日本大震災」を踏まえロータリーアンが、今何が出来るか、何を行うべきかを熱心に語られました。

例会後のクラブ協議会で、各委員会の発表の講評では、丁寧にご指導を頂き、誠に有難うございました。又、私達のクラブで社会奉仕活動の一環として行われ、今年で３２年目を迎える青少年剣道大会の、大会会場での例会の開催実施について、まさにロータリーの効果的なクラブ広報の実践であるとの、講評とお褒めを頂き、大変感動をいたしました。

和光 ロータリークラブ

８月２６日、和光ロータリークラブの最大のイベント、ガバナー公式訪問がありました。

今年度、２５７０地区ガバナー立原氏と補佐の坂本氏にご指導を受けました。

先ず、ガバナーの挨拶で、今年はカルヤン・バネルジー会長の博愛の心を大切にしながらスマートロータリーを実践することを強調されました。

何事も事務的、機械的になりがちなロータリーの行事に真心をもって対処して行くことが必要だと切々と述べられました。

今までのガバナーと違って、具体的に物事に接し、足を地につけて、各ロータリアンと対等な立場で胸襟を開いて、話し合う姿勢が印象的でした。

各委員の今年度の事業計画、活動方針についても、具体的に腹を割って話していただきました。

ガバナー訪問自体が事務的になりがちなことを意識してか、相当気にしている様子でした。

委員会の報告では、新世代委員長の深井会員の報告が感動的でした。特にこれからの日本をになう若者に対する考え方、若者に対する職業指導の在り方、若者に対する深い思い、深井会員の人間性の現れでした。

指導者として、非常に話術巧みにロータリーのことを話す人がいますが、人の話の棒読みで、話に具体性もなければ心もありません。

深井会員は、話も別にうまい訳ではありませんが、話に具体性があり真心があります。感動しました。

時間的には、相当長い時間でしたが、中味の濃い対話の中で、ロータリアンとっての有意義な一日でした。

ガバナーの真心のお気付かい本当に感謝しています。一年間が楽しみです。

川越中央 ロータリークラブ

平成23年8月29日(月)ラ・ポア・ラクテにおきまして、2011～12年度国際ロータリー第２570地区ガバナー立原雅夫様をお向かえしてガバナー公式訪問が16時より始まりました。立原ガバナーと馬場ガバナー補佐を中心に当クラブより会長、幹事、次年度会長、事務局、入会３年未満の会員が出席をして、ガバナー懇談会が和やかな雰囲気の中で打ち解けた話合となりあっという間に50分間が過ぎました。

17時より第1042回例会の点鐘後、例会がスタートしました。立原ガバナーより卓話をいただきました。RI 会長方針やガバナー方針など分かりやすくご説明があり又、「東日本大震災」への現状と今後における具体的な救援活動のお話がありました。

18時30分より、クラブフォーラムの形式で、本年度の会長方針であります①会員増強「三期計画で40名の達成」②奉仕プロジェクトの強化「東日本大震災への支援」③例会プログラムの充実「月曜の夜はスキップ出席」についてディスカッションを会員で行い、ガバナーとの質疑応答後、立原ガバナーと馬場ガバナー補佐よりご講評をいただき、20時にガバナー公式訪問が終了致しました。

秩父 ロータリークラブ

８月３０日、立原ガバナーをお迎えするため、新会員（入会３年未満）６名が、早朝から例会場である秩父神社参集殿に集まり、会場の準備をしました。

時間どおりお見えになったガバナーは、神社参拝後、会長・幹事・新会員との懇談会に臨まれ、食事時間を含め、新会員ひとり一人と親しく懇談されましたので、新会員にとっては、居心地の良い一時を過ごすことができたと思います。

例会時の卓話でガバナーは、ご自身のテーマのまとめに、地区は各クラブの活動を応援するので、各クラブ会員は明るく・楽しく・美しいローラリーライフを送ることが大切と、強調されました。

クラブ協議会では、会員から綱領や４つのテストについて質問させていただくなど、会員一同にとっては、ロータリーを考える絶好の一日となりました。

表彰

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者（17 回目）

戸谷　全克（本庄南）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

坂間　智子（志木柳瀬川）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

木暮　亨（深谷東）

ポール・ハリス・フェロー

萩原　繁（皆野・長瀞）

米山功労者（3 回目）

米山　真澄（東松山）

米山功労者（3 回目）

隈川　貴久男（富士見）

米山功労者（2 回目）

上野　武男（富士見）

米山功労者（2 回目）

奥田　功次（富士見）

米山功労者（2 回目）

尾崎　功（富士見）

米山功労者（2 回目）

坂本　元彦（富士見）

米山功労者（1 回目）

森田　仁一（富士見）

米山功労者（1 回目）

増田　美佐子（志木柳瀬川）

米山功労者（2 回目）

吉島　一良（飯能）

米山功労者（4 回目）

守屋　昭夫（狭山中央）

米山功労者（3 回目）

吉田　勝敏（深谷）

米山功労者（1 回目）

武笠　行男（深谷）

米山功労者（1 回目）

長友　徹（深谷）

新会員のご紹介

清水　賢

クラブ名：川越ＲＣ
入会年月日：2011年８月23日
勤 務 先：㈱ＮＴＴ東日本
埼玉中央西営業支店
役　　職：営業支店長

田中　勇一

クラブ名：川越ＲＣ
入会年月日：2011年８月23日
勤 務 先：武蔵野銀行
川越支店
役　　職：支店長

田中　聡

クラブ名：新狭山ＲＣ
入会年月日：2011年９月５日
勤 務 先：田中労務経営
事務所
役　　職：所長

大野　寛

クラブ名：本庄ＲＣ
入会年月日：2011年８月11日
勤 務 先：㈱アットホームズ
役　　職：代表取締役

土屋　進

クラブ名：本庄ＲＣ
入会年月日：2011年８月11日
勤 務 先：㈲土屋整備工場
役　　職：代表取締役

浅見　寿夫

クラブ名：深谷東ＲＣ
入会年月日：2011年７月８日
勤 務 先：あさみ医院
役　　職：院長

森　純一

クラブ名：深谷東ＲＣ
入会年月日：2011年８月５日
勤 務 先：㈲東重機
役　　職：代表取締役

神尾　英樹

クラブ名：深谷ノースＲＣ
入会年月日：2011年９月５日
勤 務 先：㈲バランス
役　　職：取締役

小暮　建一

クラブ名：深谷ノースＲＣ
入会年月日：2011年９月５日
勤 務 先：Ｋ２電気
役　　職：代表

並木　謙一

クラブ名：熊谷ＲＣ
入会年月日：2011年８月26日
勤 務 先：㈱並木設備工業
役　　職：取締役専務

黒田　淳一

クラブ名：行田ＲＣ
入会年月日：2011年８月18日
勤 務 先：税理士法人
黒田会計事務所
役　　職：所長

奥澤　直人

クラブ名：羽生ＲＣ
入会年月日：2011年７月１日
勤 務 先：㈲総合管理センター
役　　職：取締役

石川　篤信

クラブ名：羽生ＲＣ
入会年月日：2011年７月12日
勤 務 先：㈲石川葬儀社
役　　職：専務取締役

柿本　英一

クラブ名：羽生ＲＣ
入会年月日：2011年７月26日
勤 務 先：㈱スクールパール羽生
役　　職：専務取締役

米山記念館へ研修旅行

米山記念奨学部門委員長　大澤　衞（和光）

第2570地区恒例の米山記念奨学生・学友生総勢37名で、米山梅吉記念館への研修旅行を9月10日（土）～11日（日）に実施いたしました。お陰様で本年が12年連続の訪問となりました。

車中では岡部みゆき（推進委員）の絶妙な司会により、奨学生・学友生・カウンセラー・地区役員の、自己紹介に始まり、ロータリークラブ、米山奨学会、地区組織7部門の研修を行い、「四つのテスト」の解釈をそれぞれロータリアンが説明。充実した研修の時間となりました。

夕食時には奨学生の国別対抗による、歌や踊りが披露され、韓国チームが最優秀賞を獲得し、西澤孝夫直前部門委員長より表彰、賞品が渡されました。

翌日は、車中で10月を中心に行う米山月間の卓話について、奨学生と地区役員で綿密な打ち合わせをしながら、一路、池袋・川越経由で本庄に戻りました。

米山の奨学生、学友ともこの行事を通じて日頃からお世話になっているロータリアンにとても感謝しております。そして、これからも日本と世界の平和の懸け橋となることを祈りつつ、研修旅行を無事終了いたしました。

米山月間に拘わらず、「卓話」を受け付けておりますので、ガバナー事務所にお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

2011～12年度　国際ロータリー第2570地区大会のご案内

場所：川越プリンスホテル

■1日目　11月19日（土）

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
RI会長代理：井上 暎夫様（千里RC）
第2660地区2002～03パストガバナー

18:00～20:00
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
（登録開始17:00～）

■2日目　11月20日（日）

＜記念公演＞
ーふるさと・愛・平和を願ってー
林 隆三と楽しむ「賢治童話の世界」
～朗読とピアノの弾き語り～

10:30～12:00
本会議 第1部（登録開始9:30～）

13:00～18:00
本会議 第2部

ちょっとひと休み・・・

川柳作品の紹介

ロータリー川柳募集中！！

あなたのロータリーライフで思ったこと、面白いことなど
自由に作句してください。たのしい作品お待ちしています！
ガバナー事務所へFAXまたはメールにてお寄せ下さい。

アポとらず　必ず会える　例会日
朝礼に　今日の卓話が　役に立ち
例会日　友と会える日　楽しい日

小川　正夫（川越RC）

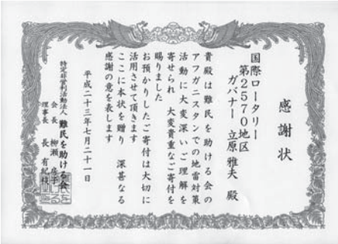
地区幹事リポート

地区幹事　小谷野和博（川越）

■３月１１日の東日本大震災に対し、第２５７０地区では各方面にさまざまな支援活動をさせて頂いております。

７月２４日開催の社会奉仕部門セミナーに於いては、国際ロータリー第２５２０地区へ救援物資と義捐金５６０,１６８円をお贈りいたしました。

■８月２９日開催の国際奉仕部門セミナーに於いては、認定ＮＰＯ法人難民を助ける会理事長の長有紀枝様よりお言葉を頂き、義捐金９３,０００円をお渡しいたしました。



感謝状

国際ロータリー
第２５７０地区
ガバナー　立原　惟夫　殿

貴殿は難民を助ける会のアフガニスタンでの地雷対策活動に大変深いご理解を寄せられ、大変貴重なご寄付を賜りました
お預かりしたご寄付は大切に活用させて頂きます
ここに本状を贈り　深甚なる感謝の意を表します

平成二十三年七月二十一日

特定非営利活動法人　難民を助ける会
会長　柳瀬　敬子
理事長　長有紀枝

このような活動を通じて、各方面からお礼のお言葉を頂いております。地区内各クラブの皆様のご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。

文庫通信（288号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の一つとして１９７０年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信と新着文献より

◎『現代社会とロータリー』－クラブと会員はどうあるべきか」…… 上野　操 ……〔2011〕　1P
（D.2580 月信）
◎「ロータリーの綱領について」…… 川野正久 ……〔2011〕　2P
（D.2590 月信）
◎「『親睦と奉仕の調和』ロータリー思想の原点」…… 織田吉郎 ……〔2011〕　1P
（D.2790 月信）
◎「『利己と利他の調和』の哲学－『東洋の実業倫理』」…… 亀井義弘 ……〔2011〕　2P
（D.2670 月信）
◎「自他の関係と奉仕」…… 桑月　心 ……〔2011〕　1P
（D.2630 月信）
◎「地域に合った、オリジナルで独創的な活動をしよう『親睦活動月間を考える』」… 崎山武夫 ……〔2011〕　1P
（D.2610 月信）

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー /PDF）］

◎「わかりやすいロータリー　改訂第４版」……〔2011〕　70P
（D.2650）［申込先：渕上勝夫　FAX(0779)87-2560］
◎「奉仕の原則と保全の法則（1929 年出版）」…… アーサーＦシェルドン著 ……〔2011〕103P
［申込先：田中毅　FAX(06)6491-9899］

ロータリー文庫

〒 105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506　　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

表紙の絵の紹介

～ガバナー月信10月号表紙～

「喜多院多宝塔」

川越喜多院五百羅漢の東側は、喜多院境内地の守護神日枝神社迄前方後円墳が有り、その上に多宝塔が寛永１６年建立された。その後明治４３年慈恵堂への渡り廊下に改造移築された。

昭和４３年、江戸幕府編纂「匠明塔記」の木割りで総高１３メートル旧状に復して現在地に移された。

三上　泰弘（川越小江戸）

お詫びと訂正

先月号のガバナー公式訪問の報告ページにおいて、所沢ロータリークラブと表記しておりますが、正しくは所沢西ロータリークラブです。
お詫びして訂正申し上げます。

国際ロータリー第2570地区 出席率・会員数報告 8月

	クラブ名	例会数	出席率（%） 8月	出席率（%） 通算	会員数（人） 年初	8月末	8月入会	8月退会	本年度純増	女性会員
第1グループ	川越	4	85.46	86.64	77	79	2	0	2	0
	東松山	3	70.60	70.30	36	36	0	0	0	1
	小川	3	75.75	81.63	11	11	0	0	0	1
	坂戸	3	84.48	81.92	26	27	0	0	1	0
	越生毛呂	4	72.30	70.95	28	27	0	0	−1	3
	川越小江戸	3	94.47	96.52	16	16	0	0	0	0
	川越西	4	78.69	79.73	13	13	0	0	0	0
	鶴ヶ島	4	80.00	80.00	24	24	0	0	0	2
	川越中央	4	89.29	88.58	32	33	0	0	1	0
	坂戸さつき	4	84.34	84.05	20	21	1	0	1	5
	東松山むさし	2	81.00	84.00	35	35	0	0	0	4
第2グループ	朝霞	4	100.00	100.00	35	35	0	0	0	0
	ふじみ野	4	83.91	85.82	15	15	0	0	0	0
	志木	4	95.76	95.58	50	51	0	0	1	0
	富士見	3	90.55	89.78	47	48	0	0	1	0
	新座	4	89.79	90.59	26	26	0	0	0	2
	和光	4	83.92	87.04	21	21	0	0	0	2
	朝霞キャロット	4	90.39	92.63	13	13	0	0	0	0
	志木柳瀬川	3	93.30	94.15	10	10	0	0	0	4
	新座こぶし	4	92.18	91.41	16	16	0	0	0	3
第3グループ	入間	3	90.60	88.82	42	42	0	0	0	1
	所沢	4	85.45	83.56	60	59	0	1	−1	4
	飯能	4	91.37	91.60	55	55	0	0	0	0
	狭山	3	100.00	100.00	17	17	0	0	0	0
	新所沢	4	81.25	83.34	21	21	0	0	0	1
	日高	3	74.60	76.58	26	26	0	0	0	3
	所沢西	4	89.00	90.65	39	39	0	0	0	1
	新狭山	4	90.10	90.19	24	25	0	0	1	0
	所沢東	3	91.56	87.00	38	38	0	0	0	3
	入間南	4	85.00	84.50	34	34	0	0	0	0
	所沢中央	4	95.60	96.50	37	38	0	0	1	0
	狭山中央	4	82.22	83.90	31	30	0	0	−1	5
第4グループ	深谷	4	85.35	85.80	56	57	0	0	1	8
	本庄	4	80.45	84.83	69	76	2	0	7	7
	秩父	4	78.70	80.10	51	51	0	0	0	0
	寄居	5	80.58	79.26	34	34	0	0	0	0
	児玉	4	75.00	72.73	11	10	0	0	−1	0
	岡部	3	68.00	76.50	19	19	0	0	0	2
	深谷東	3	68.25	69.15	72	74	1	0	2	0
	川本	4	87.00	91.50	12	12	0	0	0	0
	皆野・長瀞	4	91.10	90.20	14	14	0	0	0	2
	本庄南	3	72.61	74.51	22	22	0	0	0	0
	深谷ノース	4	77.58	74.41	29	29	0	0	0	0
第5グループ	熊谷	4	76.83	75.44	88	92	1	0	4	3
	行田	3	75.30	77.95	54	56	1	0	2	3
	羽生	4	83.32	80.92	37	40	0	0	3	2
	加須	4	88.60	86.47	38	39	1	0	1	1
	熊谷西	4	84.50	80.21	21	21	0	0	0	0
	行田さくら	4	76.14	76.65	40	41	1	0	1	0
	熊谷東	4	96.77	96.77	29	31	0	0	2	2
	吹上	4	93.70	93.70	12	12	0	0	0	0
	熊谷籠原	4	91.03	91.81	27	28	1	0	1	0
	熊谷南	4	62.10	65.00	27	27	0	0	0	1
合計(または平均)		／	84.26	84.75	1737	1766	11	1	29	76

10月・11月のスケジュール

10 月		
2	日	ｲﾝﾀｰｱｸﾄ合同奉仕活動 青少年交換委員会＞派遣生第２次選考試験（女性会館）
3	月	公式訪問－所沢中央
4	火	公式訪問－児玉
5	水	公式訪問－熊谷南 第２回諮問委員会（川越ﾌﾟﾘﾝｽﾎﾃﾙ）
6	木	公式訪問－行田
7	金	公式訪問－富士見
8	土	第3ｸﾞﾙｰﾌﾟﾌﾚｯｼｭﾏﾝ研修ｾﾐﾅｰ（狭山勤労福祉ｾﾝﾀｰ）
10	月	行田ＲＣ創立45周年記念式典（行田市商工ｾﾝﾀｰ）
11	火	公式訪問－日高
12	水	公式訪問－川越西
13	木	公式訪問－志木柳瀬川
14	金	公式訪問－川越小江戸
15	土	第２回会員増強セミナー（早稲田ﾘｻｰﾁﾊﾟｰｸ） Ｒ財団部門役員会議（ｶﾞﾊﾞﾅｰ事務所）
17	月	公式訪問－深谷ノース
18	火	公式訪問－吹上
19	水	公式訪問－新座こぶし
20	木	第1ｸﾞﾙｰﾌﾟ会長幹事会（二葉本店）
21	金	公式訪問－深谷東
22	土	第4ｸﾞﾙｰﾌﾟ入会３年以内会員研修ｾﾐﾅｰ（早稲田ﾘｻｰﾁﾊﾟｰｸ）
25	火	公式訪問－狭山中央
26	水	公式訪問－鶴ヶ島
27	木	公式訪問－所沢東
29	土	深谷ＲＣ創立 50 周年記念式典（埼玉ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾃﾙ深谷）
30	日	第２回米山記念奨学部門ｾﾐﾅｰ（国立女性教育会館）

11 月		
1	火	公式訪問－川本
2	水	公式訪問－熊谷籠原
8	火	公式訪問－入間南
15	火	公式訪問－所沢
19	土	地区大会（川越ﾌﾟﾘﾝｽﾎﾃﾙ）
20	日	↓
23	水	ﾛｰﾀﾘｰ財団地域ｾﾐﾅｰ（大阪国際会議場）
24	木	RI会長ご夫妻歓迎晩餐会（ﾘｰｶﾞﾛｲﾔﾙﾎﾃﾙ）
25	金	ﾛｰﾀﾘｰ研究会（大阪国際会議場）
26	土	↓
29	火	公式訪問－川越

国際ロータリー第2570地区　2011-2012年度ガバナー　立原雅夫

ガバナー事務所　〒350-1123　埼玉県川越市脇田本町11-27-2F
TEL 049-293-6522　E-mail: info2011@mail.rid2570.gr.jp
FAX 049-293-6523　URL: http://www.rid2570.gr.jp/2011/